

市総合計画に「小中一貫教育」 小学校から中学校へ、発達の意味を深く

鶴岡市総合計画・後期計画（案）に、初めて「小中一貫教育の検討」が明記されました。

ありきではなく、小学校から中学校へ、発達の意味を深く検討すべきです。

市総合計画・後期計画（案）には、施策の方向として、

「鶴岡型小中一貫教育基本計画」を策定し、子どもたちにとって望ましい学校の規模、施設整備、通学方法などについて検討を行います。」

主な施策として、「小中一貫教育の教育効果を調査、研究し、適正な規模や配置などについて検討」となっています。

基本計画策定委員会

「鶴岡型小中一貫教育基本計画」策定のスケジュールは、第1回策定委員会が6月21日開かれ、委員長に成澤和則・朝陽第三小学校校長（前市教育委員会学校教育課長）が選ばれました。

計画策定メンバーは、コミュニティ組織協議会や自治振興会連絡協議会、学校運営協議会、PTA連合会等の代表者と、小学校・中学校

の校長会の会長、学識経験者等です。

第2回策定委員会は

中学校への「成長の飛躍」 ができない地域

市教育委員会は、令和7年度から、中学校ブロックごとに小中一貫教育を実施するとしています。

しかし、市街地のナンバースクールをすべ

て、小中一貫校にするには無理があります。

藤島地域に先行して設置すれば、鶴岡市には小学校と中学校、義務教育学校という学校の複線化になります。

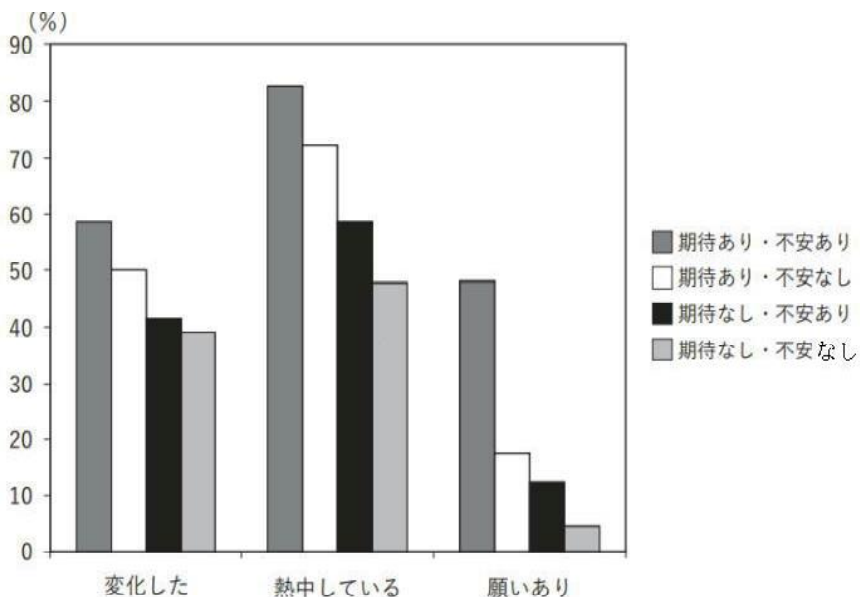


図1 中学校生活への期待・不安と中学校生活に対する意識の関連（都筑, 2001）

ふるさと賛歌 6

鈴木重雄（八色木）

村長雑感（つづき）

大正14年、納税額による等級選挙が削除されたが、女性や生活困窮者には選挙権はなかった。

成田信吉村長（昭和

13・6（21・11）は、

温厚な人柄で馬が好きであった。サラブレッド系の栗毛馬で、農耕用に飼育していた。退

庁後、馬の背に鞍を乗せ村内を廻っていた。時に孫と一緒に抱えて巡回していた。

昭和21年4月から婦人参政権が認められ、現在の選挙制度になった。老若男女を問わず選挙の関心は高まった。

日向定吉村長（昭和

22・4（24・3）は、

教職であり、新堀小学校の校長を退職された剣道の達人であった。宿直の梁を走るネズミを竹刀で打ち取ったという名手である。物静かな語りで、鶏の飼育に詳しい人で、自家でも飼育していた。

当時、私も農協に勤務し、役場と同じ建物だったので、宿直室で一緒にいることもあった。

藤島町との合併後、

町議会議員に当選され、副議長を務められた。

なお、当時の八栄島地区選出議員は、川村与助さんと2人であった。

八色木村開村八人衆（町史上巻より）

八色木開村八人衆は、藤原氏の子孫が永住したと、古老は言う。

榛の木、谷地、人馬の走行を妨げる程の湿地帯が、果てしなく続いている。

朝廷は和銅5年に羽国をつくって支配した。古郡に郡を設けて。

当時の国府は平形である。その時のいずれかの役人が、八色木村に住みついたものと考えられる。

また、大笹川の氾濫があり、それを見に行った先祖が、足元に流れ着いた古い仏像を拾い、現在も仏壇に安置されている。

〈参考〉承和4年（834）、出羽国で国分2寺の菩薩像をつくっている。これによって、平安時代のはじめ、僧寺と尼寺があったことは確かである。

藤島地域では、「小学校に行きたい」と言っても通らず、憲法第26条の「教育の機会均等」に反することになります。

都筑学・中央大学名誉教授の調査では、小学校6年のときに、中

学校生活に「期待」と「不安」の両方を持つという体験が、中学校での成長に最も力になっています。（図）

藤島地域は、「中学校への成長の飛躍」ができない地域になる心配があります。

鶴岡市議会百条委が調査報告書 自公会派の多数で強行

皆川治鶴岡市長の寄付不記載問題等に関する「鶴岡市議会百条委員会」(佐藤博幸委員長)が25日、調査報告書を自公会派の委員の賛成多数で決め、一斉にテレビ・新聞等で報道されました。

「法に抵触する疑い」で、告発するのか？

報告書は、皆川治市長が2017年の市長選で支援者から受取った100万円を、選挙運動用の収支報告書に記載しなかったことが、「公職選挙法に抵触する疑いがある」とする内容です。

百条委員会は、議会が調査できるのは「地方公共団体の事務」であって、市長が受取った100万円は、自治体の事務ではありません。

まして委員会が「違法」と決めつけることはできず、「法に抵触する疑い」とするなら、委員会が検察に告発しなければなりません。100万円授受は、すでに収支報告書を訂正し、議会全員協議会の中で、市長が説明しています。

支援者に返金された100万円について、公選法に抵触する寄付だとすれば、司法の場での判断になります。しかし、提訴の動きはありません。

政争の具に

くても半年で結論を出し、調査項目の事実を確認し、意見を付して終わっています。

市長のパワハラ疑惑は未だ途上です。自公会派が百条委を長引かせ、政争の具にしているのではと疑われます。

加藤鮎子衆院議員の政治資金疑惑

岸田改造内閣でことも政策担当相に就任した自民党の加藤鮎子衆院議員の資金管理団体「加藤鮎子地域政策研究会」が、2021年に同氏の関連政治団体から1回の政治資金パーティーで250万円の支払いを受けていたことが判明し、寄付に訂正しました。

政治資金規正法は、同一の個人、団体がパーティー1回あたりに購入できる金額は150万円以下と定めています。

また鶴岡市にある事務所の家賃を、自身が代表を務める資金管理団体が、毎月15万円を実母に支出していました。

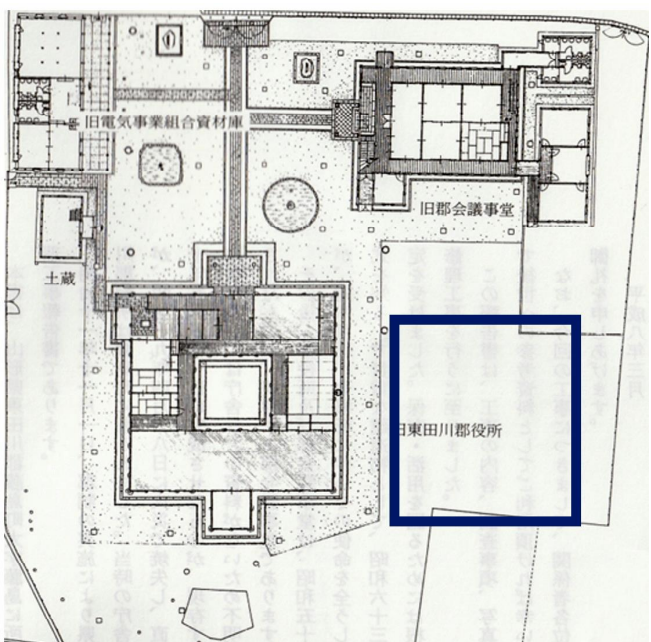
家賃が相場価格より高額な場合、差額が公職選挙法が禁止する寄付に当たる可能性があると考えられます。

東田川史跡物語 先号の修正と補足②

青山 崇

なお郡役所と裏の建物の写真は、県内初の

写真館主・菊地新学の撮影で、現在は県立図



書館が保管している。菊地新学(1832-1915)のライブラリーは、山形県立図書館のHPに、「菊地新学・山形写真帖」として掲載されている。

「土木県令」三島通庸は、建造した橋・官公庁・学校など、菊地を御用写真家とし、85点を巡幸の明治天皇と侍従長に献上した。

県立図書館保管のものは侍従長家から返還されたのである。延焼せずに残ったので、少なくとも初代郡



期待のない改造内閣

毎回内閣改造があれど、何も仕事をしていないのに支持率が上がるのを不思議だなくと思っていたんだが、今回はそれが無いという。

▲ならでは・で批判されている女性の起用は、5人と多かったんだが、副大臣と政務官27人には、ならでは・を期待できるオヒトが一人もいなかったらしい。これには、国内だけでなく国外からも非難があるというが、首相には男尊女卑の気が？

▲各方面から批判が出ないように、又着任後、適材適所ナンですナンテ言い訳をする必要がないように、併せて、統一教会でも目立つことがないか身辺調査もし、しかも改選があっても次も首相になれるようにと、改造自体が大変頭を巡らす大仕事なのに、人気が出ない

会議室が建設されるまで残っていたと思われる。

話が飛ぶようだが、敷地も広いものでなく、近代の遺構なので礎石配置をみるため20cmほど掘る発掘調査もよいと考えている。

同時に初代郡会議事堂の位置は、現存郡会議事堂の位置か、もしくは旧郡役所東側(青線で囲む)と推定されるので、東側も同様の発掘調査をしてはどうだろう。

とはサ、期待するものがないという事だ。

▲思うにそれは、大臣が代わっても国民の暮らしが変わらねーと感じているからではないでしょうか。物価高で日々暮らし難いは続く、同時に、平和を望んでいるのに、ロシアや中国の動きに危機感を煽

って戦争の準備を急いでいる事。マイナカードでなく紙の保険証を残せ・の声を聴けーと。

▲だから国民は、暮らしやすくしろ、戦争の準備でなく平和の準備をしろ・外交に力を入れ、金は兵器に使わな

いで福祉に使えと言っているんですよ。

▲俺は、汚染水 アルプス超えても 汚染水の方だが、科学的という処理水で、説明だか言い訳だかをしてきた外務大臣を変えたのは、何故だったんだろうか。どんな理由にせよそれ自体、内閣の損に思えるんだが(石川)